

小学校版「SOSの出し方指導プラン」学年・学年ブロック集会（小学校高学年）

- 1 ねらい 相談のよさについて考えを交流したり、専門の先生等の話を聞いたりすることで、学習したことを今後の生活に生かして、相談していこうという意欲を高める。
- 2 準備 ワークシート 掲示資料 専門の先生等との事前打ち合わせ
- 3 展開

学習活動（15分）○：留意点 点線：評価 ☆：振り返りの児童の意識
1 学級活動の内容を振り返り、授業の感想や分かったこと等の意見交流を行う。（7分） ・「相談の出し方さん」について、内容を確認する。 ・学活の授業での感想を伝え合う。 ○司会進行は、教員が行う。 ○授業で使用したワークシートを児童に返却しておく。 ○授業で使用した掲示資料を見せて「相談の出し方さん」について想起できるようにする。 ○自分が相談できそうな人物を考えるために、「誰に」の部分にも触れる。 ○不安や悩みの内容によっては、相談したい相手（誰に）を自分で決めて行けることも大切であることを伝える。 ☆「相談の出し方さん」を使い「誰に」相談するか自己決定していくことが大切であることが分かった。
2 専門の先生等からの話を聞き、学習のまとめをする。（4分） ・専門の先生等から話を聞く。【校長、教頭、養護教諭、学校医、SC、等】 ○児童に話す内容は、以下の点等について触れてもらうよう、専門の先生等に事前に伝えておく。 ・「心のモヤモヤ」が続くと、身体的に影響が出てきてしまうこと。 ・「学校を休む」、「自分を傷つけてしまう」等は、後で自分を責めることになったり、自尊心が低くなってしまったりすること。 ・劣等感をもちやすい時期であり、自己評価を厳しくしてしまう傾向があること。 ・自分の心が今どんな状態になっているか、自分と向き合って考え、自分の気持ちに気付いていけるようにすること。 ・相談の「出し方さん」を活用して相談すると相手に分かってもらいやすいこと。 ・モヤモヤが出てきた時、誰かに相談することで、心がスッキリしていくこと。 ☆専門の先生の話聞いて、誰かに相談する等の対応をしていくことの大切さが分かった。
3 振り返りをする。（4分） ・SOSの出し方に関する学習のまとめをする。 ○学年の担当教員が、以下の点等について触れ、学習の振り返りができるようにする。 ・今後の生活で意識してもらいたいこと。 ・「こころのモヤモヤ」を出せる場面はいろいろあること。（毎月行う生活アンケート含む） ・「出し方」の学習を行ったので、今後「受け止め方」の学習も行うこと。 ☆「こころのモヤモヤ」をすっきりさせるために、誰かに相談することを意識していこうという意欲が高まった。